

転居された方は事務局(svcf-admin@svcf.jp)まで転居先をお知らせください

第134回院内集会

2024年2月16日(金)正午から参議院議員会館1階議員第2会議室にてジャーナリスト青木美希氏を講師に第134回院内集会を開催した。同時にオンライン Zoom 配信をした。演題は「あれから13年。福島の今と石川県志賀原発取材報告」である。

2024年2月16日(金)正午から参議院議員会館一階議員第2会議室にてジャーナリスト青木美希氏を講師に第134回院内集会を開催した。同時にオンライン Zoom 配信をした。演題は「あれから13年。福島の今と石川県志賀原発取材報告」である。

青木氏は本年元日発災の能登半島地震と北陸電力志賀原発に係る報道の実態につき言及した。「実際に行ってみないと分からない」と。

志賀原発から北にある志賀町富来領家地区を訪ねて撮影した動画が紹介された。

昨年12月20日には福島第一原発を視察した。浪江町津島地区を訪ねた動画を投影し、避難指示解除されたもののその実態につき言及された。

敬遠する」との懸念を表明された。

衆参両院の6人の議員が参加した。



開会の挨拶をする牧山ひろえ/参議院議員



質疑応答では加藤朗理事長から、「衰退産業には研究者、労働者が集まらず、簡単には廃炉・廃止が出来なくなるリスクが高まる。反原発を喧伝すればするほど、若者は将来性の無い原発産業を

【青木美希氏のプロフィール】



札幌市出身。ジャーナリスト、作家

1997年、北海タイムス入社。北海道新聞を経て2010年9月、全国紙入社。

東日本大震災/原発事故を2011年3月11日の発生翌日

から取材。

2023年11月20日『なぜ日本は原発を止められないのか?』(文春新書)を刊行。2023年から日本ペンクラブ言論表現委員会副委員長。



2月1日付で新理事長に就任しました加藤朗です。

小生の略歴は以下の通りです。

1951年5月31日鳥取県米子生まれ。

1981年3月早稲田大学大学院国際政治修士修了。同年4月防衛庁防衛研究所所員、1996年4月桜美林大学国際学部教員、2022年3月同大学退職。

SVCFとの出会いは、2011年5月の院内集会在最初です。そもそも参加の動機は、左右を問わず原発の暴発を身を挺して防ごうという山田初代理事長の心意気に賛同したこと、そして何より私の実家が阪神淡路大震災の被災者であったことにあります。以後、大学の勤務もあり、1年に1~2回程度ですが、震災後の後片付け、草刈り、稲刈り、ブドウ摘みなどに参加してきました。ここまで長くSVCFとの関係が続いたのは、ひとえに安藤前理事長のおかげです。前理事長とは、東海大学当時からの付き合いで、その人柄に誘われて、お声がけいただければ万難を排して活動に参加してきました。今回の理事長交代も、その延長線上です。前理事長には事務局長としてこれまで通り活動を取り仕切っていただきます。小生の任務は、福島の人々とともに原発の廃炉、地元の復興を見届けるために、一日でも長く組織を存続させることにあります。SVCFのように10年以上にわたって福島のために活動を続けてきた団体は稀です。10年誌に記されたこれまでの活動の成果を糧に、これからも力尽きるまで、Skilled Veteransの皆さんとともにCorpsとしてfor Fukushimaを目標に頑張っていきたいと思ひます。

『福島原発行動隊10年誌』が国立国会図書館に納本されました。希望者は氏名・住所を

〒101-0063 千代田区淡路町 1-21-7 清和ビル1階A室

公益社団法人福島原発行動隊 または

杉山隆保 <takayasusugi8888@gmail.com>

宛てお知らせください。



【行動隊2024年3月スケジュール】

●第135回院内集会

3月5日(火曜)11:00-12:30

●SVCF通信第168号発行

3月19日(火曜)

●連絡会議

以下の各金曜日 10:30-

1、8、15、22、29

